



市長と話す日を開催

★ 明るいまちづくりは対話から ★

当日、持ち込まれた相談は六件。"もつと緑を"、"子供の広場を"、"自転車置き場を設置して下さい"など日常生活に密着した切実なものが多いと見受けられました。

市長は、これら一つ一つの相談を聞いていかに受付。"自転車置き場は、現在、場所を検討しています。"、"都市の緑化や広場の増設は、いまや都市生活をするものにとって大切なことです。空地などの有効な利用法を考え、緑をふやします。"など、市としてもできる限り、ご希望にこたえよう努力していくことを市長は、約束していました。

第三土曜開催

この「市長と話す日」は、今後、毎月第三土曜日の午前10時から正午までの間、市役所一階ロビーで開催します。何でも相談できる、気軽な市長さん。"親しみのある市役所"をモットーに、市民の来訪をお待ちしています。

あなたも気軽に、市長と話しませんか。

下水道豆辞典

下水道工事が終わり、下水道指定工事店(仮称)で下水道管渠が使用できるようになると、その区域の土地や建物の持ち主に処理開始の告示が下されます。そこで各家庭では合符、風呂場や便所からの汚水を公共下水道に流し込むために、私有地内にそれぞれ排水設備をつくってやらなくてはなりません。

この設備がきちんとつくりだされないと、せっかくの建設費を使って下多額の建設費を使って下排水の正しい始末ができて、市が指定した下水処理場に排水されていきます。

水洗便所の改造は、下水道に排水する場合は、その下水による障害を除去する除害施設を設置することが義務づけられます。

排水設備の設置義務

その機能の損傷した排水設備の修復や、下水道の施設やその下水を著しく公共の衛生に害を及ぼすおそれがある下水を、下水道に排水する場合は、その下水による障害を除去する除害施設を設置することが義務づけられます。

程度が一級(重度)に該当する児童一人につき、月額一万八千円を二万三千円に二級(中度)に該当する児童一人につき、月額一万二千円を一万三千五百円に引上げます。

この改正で、児童扶養手当支給対象児童の年齢引上げ、支給対象児童を「義務教育終了前の者」から「三年間で段階的に十八歳未満の者」に引上げられます。すなわち、昭和五十三年三月三十一日までの間は、「昭和十五年四月二日以降に生まれた者および義務教育終了前の者」が対象となります。

詳細は、社会福祉課までお問い合わせ下さい。

電話九三一一一一

給付額など引上げ 特別児童扶養手当 10月から

「児童扶養手当」および「特別児童扶養手当」が、十月一日から次のように改正されます。

①市内に一年以上居住している給付所得者で、主たる生計維持者。

②前年の年収が、三百五十万円以内の者。

③市税の完納者

④京都労働金庫の会員

(5)連帯保証人(二名)

(融資額)

三十万円以上百万円以内(融資金利)

年利六・四八パーセント

(月利〇・五四パーセント)

詳細は、社会福祉課までお問い合わせ下さい。

電話九三一一一一

水道の故障は早めに修理を

水は、私たちの日常生活に欠かさない大切な資源です。たとえわずかな水漏れでも、ほっておくと大きなむだ使いになります。故障箇所はすぐ修理しましょう。ご家庭でなおせない故障は、応急手当をして、水道部が公認業者へ……。

修理を申込まれるときは次のことをお知らせ下さい

(1)おとところ

(2)おなまえ

(3)領収書等を書いてある番号(括弧・整理番号)

(4)付近の目標となるもの

(5)故障の状況



教育委員として 大西、脇田氏再任

市では、このほど市民本位の市政を推し進める一つの施策として、「市長と話す日」を開催しました。この第一回目が、九月十日に市役所一階ロビーで開催されました。

これは、市民のみなさんの困りごとや悩みなどを、市長がお聞きして、それを市政に反映させようというものです。

その第一回目が、九月十日に市役所一階ロビーで開催されました。

委員は、この他に、高橋静二氏、袖木春雄氏、清水丑之助氏の計五名おられます。任期は、いずれも四年です。

教育委員は、教科書や教材の採択、学校施設環境整備、学校給食、社会教育、児童の健康管理に関することなど、市の教育行政の全般にわたって、その推進と方向づけに尽力されています。

市職員を募集

保母と作業員

市では、保母および作業員(土木関係)を若干名募集します。応募要領は、次のとおりです。

▼受験資格

保母：昭和二十一年十月一日以降に生れた者で、保母資格のある人。

作業員：昭和十六年十月一日以降に生れた男子で健康な人。

▼試験科目

保母：筆記・作文・面接

作業員：筆記・面接

▼試験日

十月十五日(金)

▼受付期間

十月一日(金)～九日(土)

応募される方は、市販の履歴書に写真を貼付し、市職員課まで提出して下さい。また、アルバイト保母を希望される方(資格の有無は問いません)の登録受付も行っています。

詳細は、職員課まで。

電話九三一一一一

料理教室を開催

中央公民館主催の料理教室が、九月十七日の午後一時から、公民館調理実習室で開かれました。

この日の献立は、あげなすの甘酢あんかけ、えびと味噌がうりながら、ひと味ちがいます。

先生(左)の指導を受けながら……

参加された約二十五人のご婦人は、五、六人ずつのグループに分かれ、「それは少しかたいですね」と先生の指導を受けながら、キキキと料理。献立表を片手に、日頃の自慢の腕をふるっていました。

この教室は、自分で作った本当の手づくりの味を確かめてもらおうと、一か月に一回、中央公民館が開催しているものです。

参加者は、料理のあと自分達のつくったごちそうに舌つみをうちながら、ひと味ちがう食欲の秋を満喫していました。

私たちは、日常生活とこの公職の人々の人数ばかりかかわりのある中で、全国で約八万人の民主政治の発展の鍵ともかくにもなります。そして選挙を行う機会がこれら選挙を行う上で多くあります。

その例を述べてみます。法律が、公職選挙法であると、憲法で選挙による公職の選挙、といえます。

このほか、憲法では直公職の選挙だけでなく、衆議院議員、参議院議員が、法律によって選挙の国会議員をはじめ、都府県知事、市町村長、道庁長官、市長、市町村長、都道府県議会議員、および農林委員会委員、土地改選委員、市町村議会議員があり、良区総代などがあります。

公職の選挙

相談に応じます。

【日時】毎日午前9時～午後4時

【場所】市民相談室 (市役所玄関右横)

【相談申込み・受け付け】市民安全課

▶経営相談

中小企業者のみなさんが、もっておられる悩みや経営上の問題などの相談に応じます。

【日時】毎日午前10時～午後3時

【場所】商工課 電話931-1111

▶市民相談

【日時】毎日(市役所の執務時間中)

【場所】市民相談室 (市役所玄関右横)

相談コーナー

▶困りごと相談

あらゆる相談に専門家が応じます。また、お年寄りを対象に、「高齢者職業相談」もあわせて行っています。お気軽にお越し下さい。

【日時】毎月第2・第4火曜日(10月は12日と26日)午後10時～午後3時

【場所】市民会館

▶行政相談

役所などに対する苦情や相談、意見があるが、どうも関係の役所には申し出にくいとか、どこに申し出たらよいかかわからない方は、お気軽にお越し下さい。

【日時】毎月第2・第4火曜日(10月は12日と26日)

▶交通事故相談

交通事故から生まれてくる問題に関する相談